

■ 日常生活圏域高齢者ニーズ調査結果

1 調査の概要

(1) 調査目的

平成27年度からの計画策定にあたり、高齢者の生活状況を把握し、高齢者福祉施策や介護保険事業を検討するための基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査の対象および回収結果

平成26年5月末日現在、見直しを予定している日常生活圏域(10圏域)ごとに無作為抽出した函館市内在住の方6,900人に対し、郵送方式により調査を実施しました。

区分	対象者数(人)*	配布数(票)	回収数(票)	回収率(%)
非認定者	64,974	4,000	2,851	71.3%
要支援者	6,449	2,900	2,092	72.1%
計	71,423	6,900	4,943	71.6%

* 平成26年4月8日現在

(3) 調査項目(国の調査項目96項目および独自項目)

①家族や生活状況 ②運動・閉じこもり ③転倒 ④口腔・栄養 ⑤物忘れ
⑥日常生活 ⑦社会参加 ⑧健康

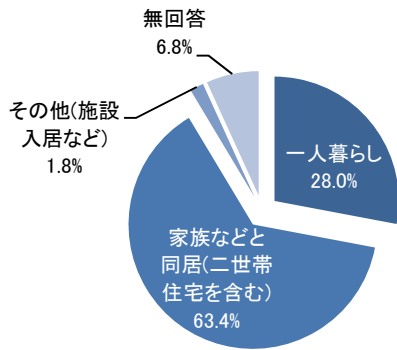
(4) 調査期間

平成26年7月下旬～平成26年9月上旬

2 調査結果（主な回答内容）

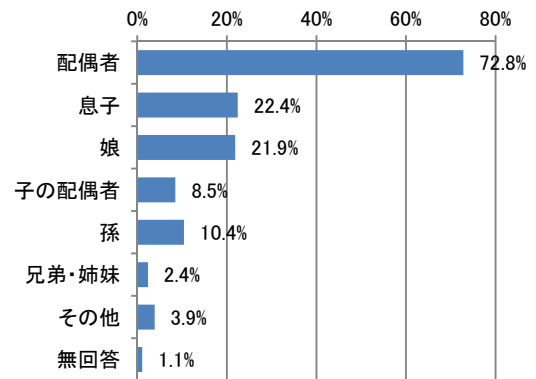
(1) 家族や生活状況

① 家族構成



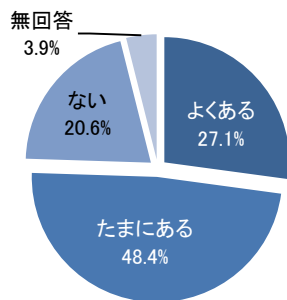
② 同居人 [複数回答]

(同居者がいる場合)

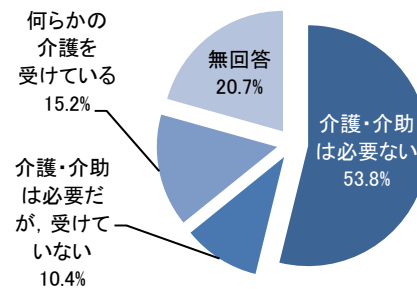


③ 日中 1 人になることがある

(同居者がいる場合)

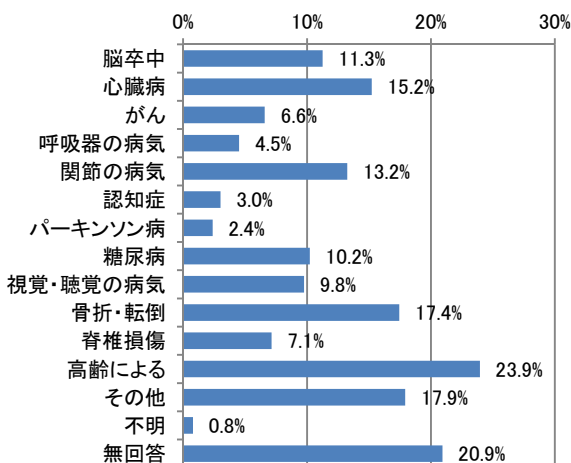


④ 誰かの介護・介助が必要か



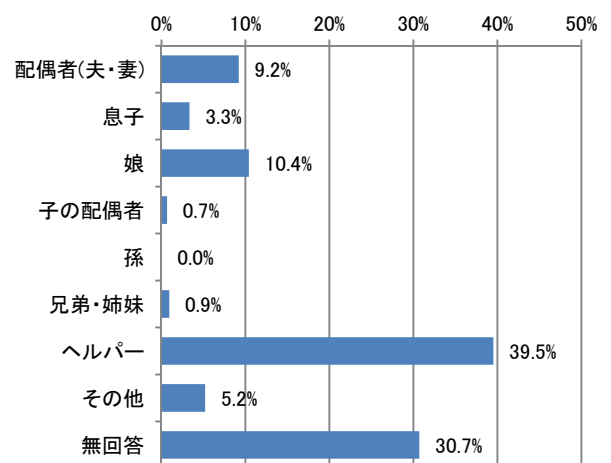
⑤ 介護・介助が必要となった原因 [複数回答]

(介護・介助が必要な場合)

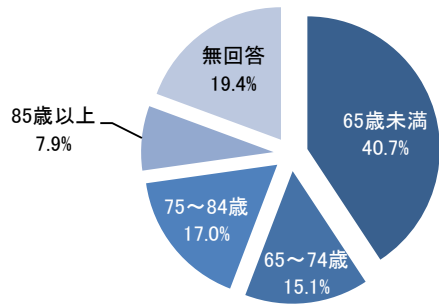


⑥ 主に誰の介護・介助を受けているか

(介護・介助を受けている場合)

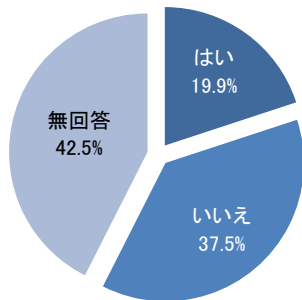


⑦介護・介助をしている方の年齢

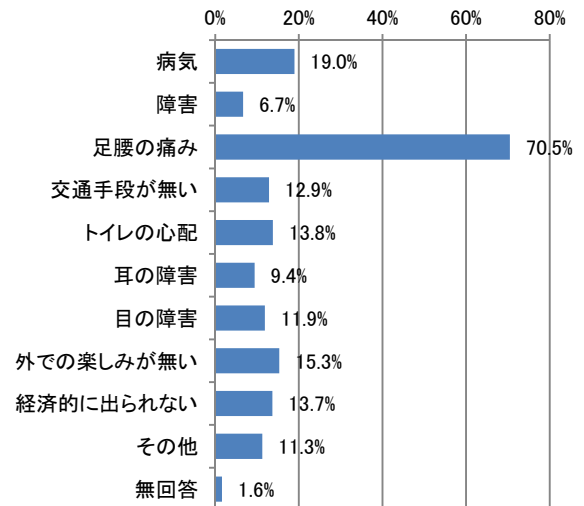


(2) 運動・閉じこもり

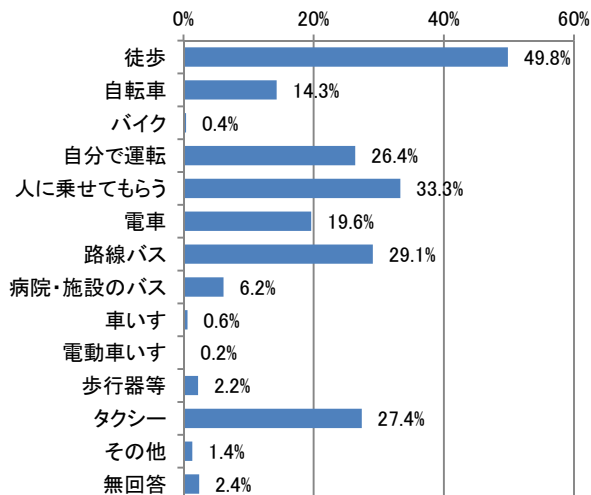
①外出を控えているか



②外出を控えている理由

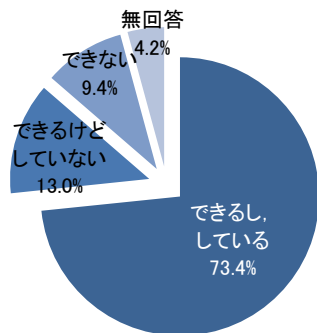


③外出する際の移動手段 [複数回答]



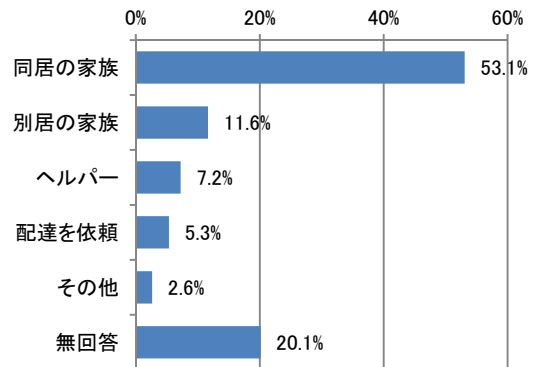
(3) 日常生活

①日用品の買い物をしているか

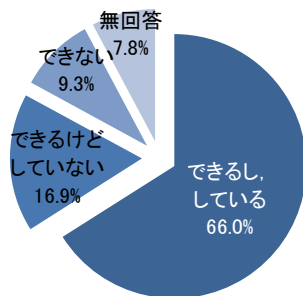


②日用品の買い物は誰がするか

(買い物をしていない, できない場合)

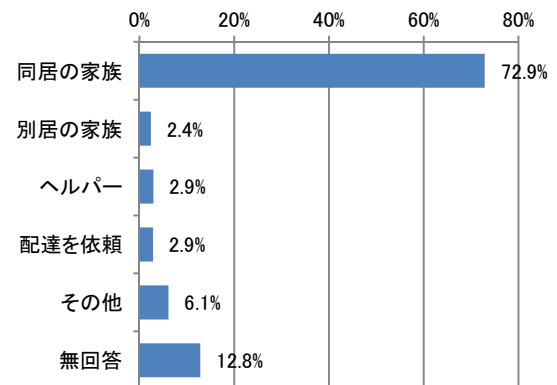


③自分で食事の用意をしているか



④食事の用意は誰がするか

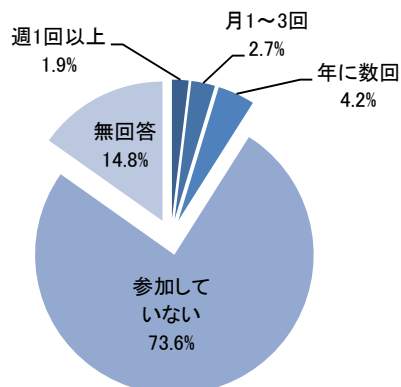
(用意をしていない, できない場合)



(4) 社会参加

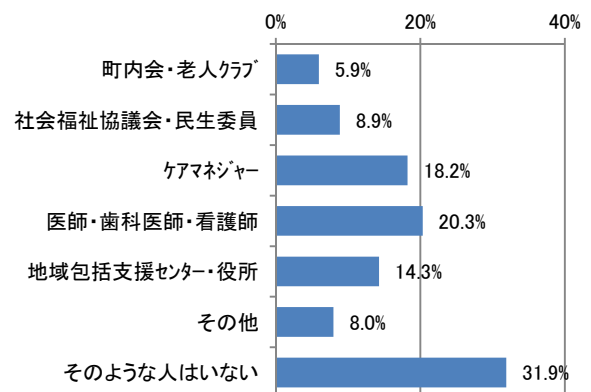
①社会参加状況

(老人クラブ・町内会・趣味・ボランティア等)

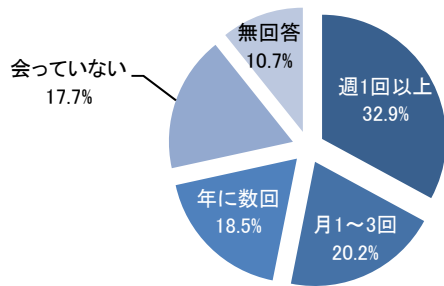


②何かあったとき相談する相手 [複数回答]

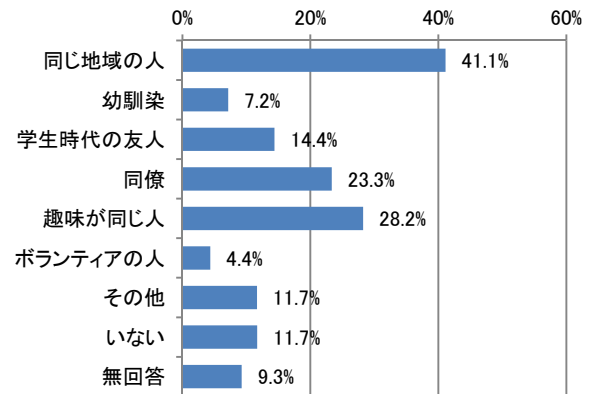
(家族や友人・知人以外)



③友人に会う頻度

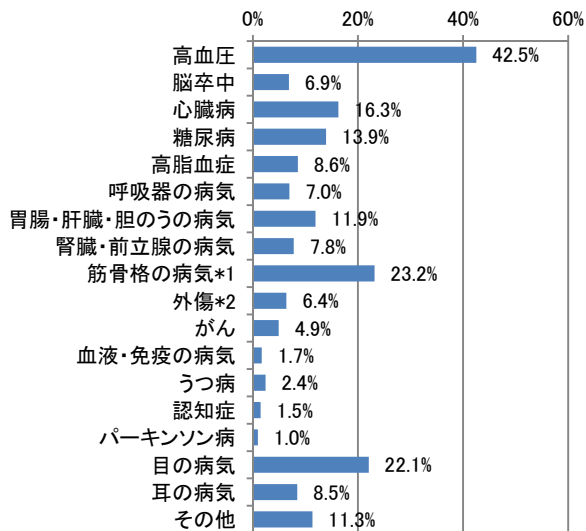


④よく会う友人・知人 [複数回答]

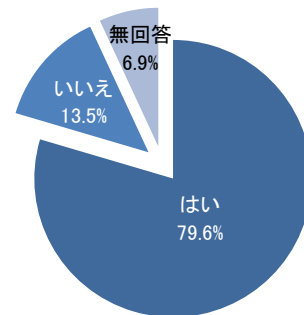


(5) 健康その他

①治療中または後遺症のある病気 [複数回答]



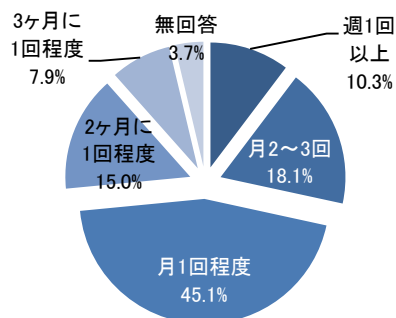
②病院・医院に通院しているか



*1 骨粗しょう症・関節症等 *2 転倒・骨折等

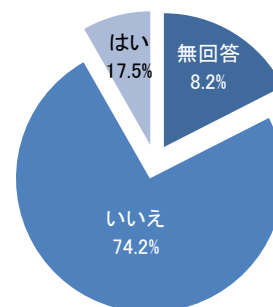
③通院の頻度

(通院中の場合)



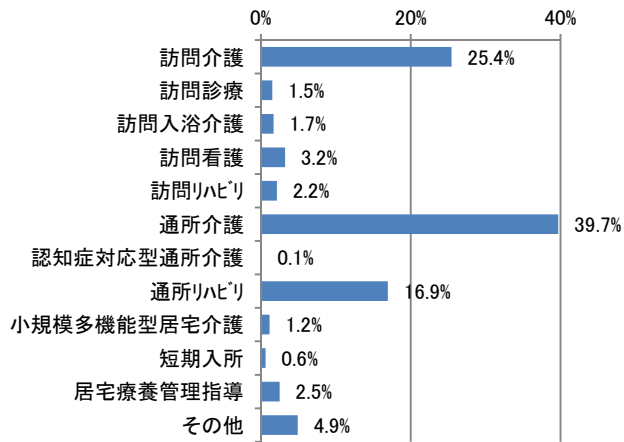
④通院に介助が必要か

(通院中の場合)



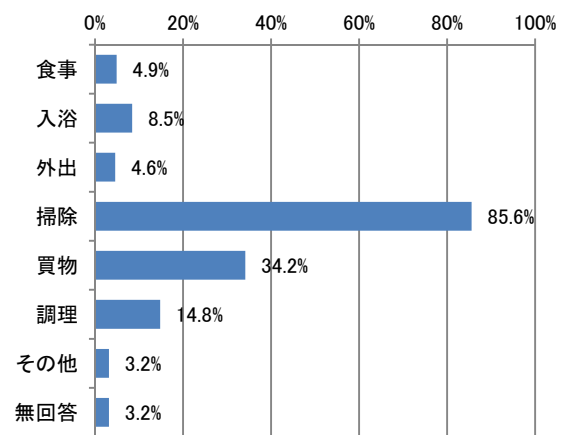
⑤在宅サービスの利用状況 [複数回答]

※要支援者のみ

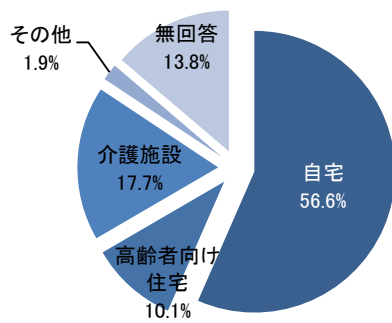


⑥訪問介護サービスの内容 [複数回答]

(訪問介護サービス利用の場合)



⑦今後どこで生活したいか



3 調査結果における「日常生活圏域別リスク分析」

(1) 基本チェックリストの機能評価項目別リスク該当者の割合

基本チェックリストによる機能評価については、回答があった要支援・要介護認定を受けていない非認定者 2,851 人について、項目別に分析を行いました。今回の調査結果では、認知症予防とうつ予防のリスク該当割合が高くなっています。

項目	①生活機能	②運動機能	③栄養改善	④口腔機能	⑤閉じこもり予防	⑥認知症予防	⑦うつ予防	⑧二次予防該当者	⑨認知機能(CPS)
リスク該当者数(人)	203	510	55	620	285	940	843	929	512
リスク該当割合(%)	7.1	17.9	1.9	21.7	10.0	33.0	29.6	32.6	18.0
[参考]前年結果(%)	5.0	14.2	1.4	15.4	7.9	25.8	23.1	25.4	-
[参考]全国平均(%)	5.3	15.3	1.4	14.2	4.7	12.5	12.2	26.2	-

※ ⑧二次予防対象者は、主に①～④のいずれかに該当した者

※ ⑨認知機能(CPS)は、要支援認定者を含んでいるため平均値は無い。

※ 前年結果は、平成 25 年度に市が実施した二次予防対象者把握事業の集計結果

※ 全国平均は、厚生労働省が行った平成 24 年度の全国の二次予防対象者把握事業の集計結果

(2) 日常生活圏域別リスク該当者の割合

非認定者における日常生活圏域別の各項目のリスク該当者と割合は以下のとおりで、全市平均より高い割合となった箇所を網掛けで示しています。

西部地区では、すべての項目が全市平均を上回る高い割合となっています。

圏域	回答者数	生活機能	運動機能	栄養状態	口腔機能	閉じこもり	認知症	うつ	二次予防	認知機能
西部	294	34	57	11	70	34	99	113	103	57
		11.6%	19.4%	3.7%	23.8%	11.6%	33.7%	38.4%	35.0%	19.4%
中央部1	280	23	62	2	78	32	98	97	108	49
		8.2%	22.1%	0.7%	27.9%	11.4%	35.0%	34.6%	38.6%	17.5%
中央部2	293	19	61	5	63	22	89	76	105	52
		6.5%	20.8%	1.7%	21.5%	7.5%	30.4%	25.9%	35.8%	17.7%
東中央部1	311	18	43	9	73	26	107	100	98	59
		5.8%	13.8%	2.9%	23.5%	8.4%	34.4%	32.2%	31.5%	19.0%
東中央部2	295	21	48	7	62	30	94	87	88	57
		7.1%	16.3%	2.4%	21.0%	10.2%	31.9%	29.5%	29.8%	19.3%
北東部1	281	19	51	5	51	33	86	70	90	51
		6.8%	18.1%	1.8%	18.1%	11.7%	30.6%	24.9%	32.0%	18.1%
北東部2	282	20	43	4	54	22	99	80	77	46
		7.1%	15.2%	1.4%	19.1%	7.8%	35.1%	28.4%	27.3%	16.3%
北東部3	298	12	44	3	54	26	106	68	82	44
		4.0%	14.8%	1.0%	18.1%	8.7%	35.6%	22.8%	27.5%	14.8%
北部	288	16	47	6	70	32	94	85	99	50
		5.6%	16.3%	2.1%	24.3%	11.1%	32.6%	29.5%	34.4%	17.4%
東部	229	21	54	3	45	28	68	67	79	47
		9.2%	23.6%	1.3%	19.7%	12.2%	29.7%	29.3%	34.5%	20.5%
平均	2,851	203	510	55	620	285	940	843	929	512
		7.1%	17.9%	1.9%	21.7%	10.0%	33.0%	29.6%	32.6%	18.0%

《圏域別リスク分析の比較》

日常生活圏域別の機能評価項目別リスク該当者の割合を示したもので、全市平均を超えている項目を色の濃い棒グラフで表しています。

